

CSRに関する取り組み

取り組みの報告



イノベーションと健全な事業活動を通じて
持続可能な社会とその発展に貢献します。

●コンプライアンス方針

コンプライアンスを徹底し、事業活動のあらゆる場面において
企業に与えられた社会的責任を遂行

① 内部統制監査を強化し、不正の未然防止を実施

- ①J-SOX監査による内部統制システムを構築し、整備・運用を実施
- ②全案件を対象とした購買プロセス監査等を実施し、不正の潜在リスクを排除
- ③不祥事及び困りごとの早期発見のため、内部通報制度（ホットライン）を設置

② コンプライアンスを遵守する風土作りを推進

- ①教育の継続的な実施により、コンプライアンスを遵守する職場風土を構築
- ②コンプライアンスの徹底を図るとともに、全社員に「TSK行動指針」を配布、「コンプライアンス浸透度・リスク分析調査」を実施し定着を推進
- ③企業倫理と法令等を遵守する体制を確立するため「コンプライアンス委員会」を定期的に開催

③ 「TSK社員の行動指針」等に基づき、 企業活動のあらゆる場面において、法令及び社会規範を遵守した行動を徹底

④ 社員一人ひとりを公正、公平に評価し、働き甲斐のある職場環境を実現

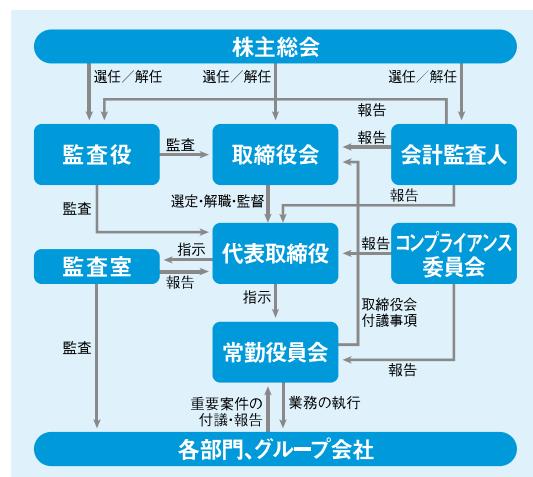
●コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスを「株主に代わって、経営の効率性や適法性をチェックする仕組み」であるととらえ、監査役、取締役会を設置しています。

監査役は非常勤監査役1名を含む2名体制であり、取締役の業務執行の監視による経営判断に対する牽制的役割を担うなど、経営管理体制のチェックができる仕組みになっています。

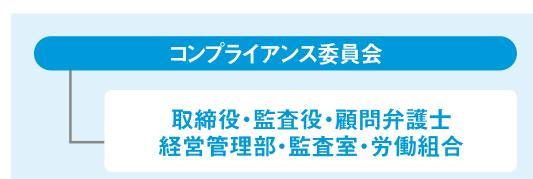
取締役会では法令及び定款で定められた事項のほか、経営に関する重要事項の意思決定と取締役の監督機関と位置付けており、重要事項については、常勤役員会にて十分な審議を行った上で取締役会に上程することにしています。

また非常勤取締役は、1名選任しており、経営意思決定の透明性を高めることで、コーポレート・ガバナンスの強化を図っています。



●コンプライアンス委員会

内部統制を補完する仕組みの一つとして、企業倫理と法令等の遵守を徹底するため、コンプライアンス体制を構築しています。



CSRに関する取り組み

取り組みの報告



イノベーションと健全な事業活動を通じて
持続可能な社会とその発展に貢献します。

●コンプライアンスに関する取り組み

●法規制順守状況

2024年度は、法規制の違反はありませんでした。

●内部通報制度

「TSK ホットライン」や、「なんでも相談・連絡窓口」を設置し、相談しやすい環境づくりを工夫しています。

また、通報者・相談者の身分やプライバシーの保護が十分に配慮されていることをコンプライアンス教育を通じて周知しております。



連絡窓口



コンプライアンス啓蒙



コンプライアンス便り配信

●コンプライアンス教育

職場単位でコンプライアンス教育を実施しています。また、社内への注意喚起を目的に、他社の不正・コンプライアンス違反等の事例を「他山の石」として、月1回配信しています。

●コンプライアンス浸透度調査

職場で働く全ての者を対象とし、毎年1回、浸透度調査を匿名方式で実施しております。ここで得た回答を参考に当社のリスクを導きだし、その対応方法についてコンプライアンスに係る会議体で報告を行っております。

●コンプライアンス便り配信

年3回発刊する社内報にて、コンプライアンス便りのコーナーを通じてイラストや事例をもとにコンプライアンス意識の向上に努めています。

●リスク管理

●情報セキュリティ

情報セキュリティの全社体制を構築し、セキュリティ委員会で、様々なセキュリティ対策を実施しています。主な対策としては、システムのセキュリティ機能強化、ユーザー（従業員）教育、セキュリティ内部監査を実施しています。

また、セキュリティ対策は、自動車産業セキュリティガイドラインに準拠した対策を実施しています。



TSK情報セキュリティガイドブック

●事業継続の取り組み(BCM)

大規模災害等の発生に備え、被害の最小化と早期復旧のために各機能が事業継続マネジメント(BCM)に基づき訓練や対策を立て進めています。屋外設備被害状況の確認にはiPhoneなどを活用し、リモートでも対応できる体制づくりを目指しています。

